

平成30年度

特別支援教室（拠点校）

## 「ほんごう学級」のご案内



### 中野区立中野本郷小学校

〒164-0012	東京都	中野区	本町4-27-3
	学校代表	TEL	03-3381-7255
		FAX	03-3381-7256
	ほんごう学級直通	TEL	03-3381-6781

平成 28 年度から、全ての中野区立小学校に特別支援教室が設置され、巡回指導の制度が始まりました。本校は特別支援教室の拠点校となります。巡回指導教員は桃園小、向台小、南台小、みなみの小にて巡回指導を行うとともに、本校の「ほんごう学級」でも指導を行います。

## <主な活動内容と時間割>

### 特別支援教室

各校の特別支援教室において巡回による指導を行います。巡回指導では、児童一人ひとりの課題を達成することをめざし、各校の特別支援教室において個別指導を中心に行います。指導では、児童の実態に応じて指導内容を工夫します。

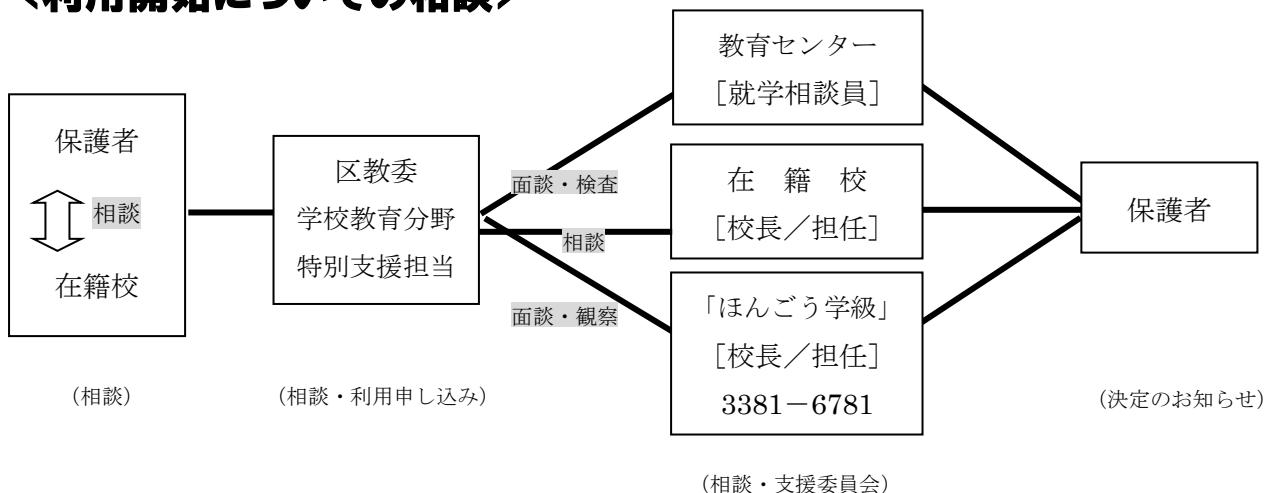
### 拠点校（ほんごう学級）午前指導（開門時間 8：30～8：45・12：45～13：05）

		水・木・金
8:30 8:45	登校	・あいさつをする。
	荷物整理	・手順に沿って、時間内に行う。 ・自由時間を過ごす。
1	運動タイム (グループ学習)	【運動】 ・集団活動参加を練習する。 ・指示やルールを理解し、それに合わせて活動する。 ・身体意識や協調運動のコントロールの力を養う。 ・基礎的な運動技能を向上する。
	コミュニケーション タイム (グループ学習)	【学習の体勢、社会性、コミュニケーションの学習】 ・今日の予定の確認をする（1日の見通しをもつ）。 ・集団活動参加を練習する（着席行動、発言の仕方、情動の調整）。 ・指示やルールを理解し、それに合わせて活動する。 ・コミュニケーションや言葉の学習をする。
中休み 自由遊び 気持ちの切り替え 友達とのかかわり		
3	個別タイム	【一人ひとりの課題に応じた学習】 ・達成感を味わわせ、学習意欲を高める。 ・個々のニーズに応じた自立活動や教科の補充を行う。
	ほんごうタイム (グループ学習)	【学習動作（聞く、話す、読む、書く）】 【制作、生活スキル、栽培と調理活動、音楽的活動、コミュニケーションの学習】 ・集団活動参加を練習する（役割や活動の遂行、情動の調整）。 ・生活スキル、微細運動や粗大運動、用具や道具の扱う力を養う。
13:00	給食	・手洗い・うがいを行う。 ・準備と片付けを行う。 ・食事のマナーを守る。 ・適切な話題を選んで話す。
	終わりの会	・手順に沿って、帰りの支度を時間内に行う。

### 拠点校（ほんごう学級）午後指導（開門時間 13：20～13：35・15：15～15：30）

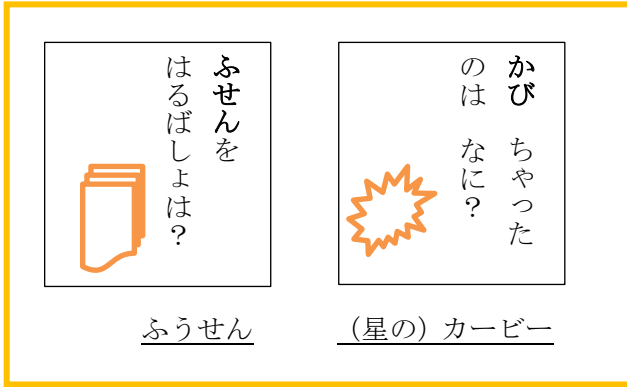
2時間の指導で、グループ学習、個別課題学習を行います。

## <利用開始についての相談>



平成29年度の学習活動の紹介① **個別タイム**

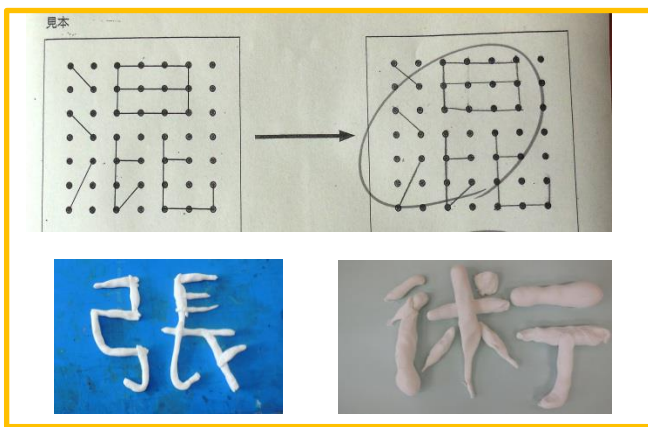
「読み名人になろう」



流暢な読みができるようになるために、読みについての指導を行っています。

絵に対する正しい表記を選ぶ三択クイズや、早口言葉などの学習をしています。また、促音（小さな「つ」）や長音（伸ばす音）が入ると変わる言葉を探す活動もしました。「なんだかダジャレみたいだね」と話すなど、楽しみつつ学習できました。

「漢字の学習」①



必要に応じて、漢字の補充指導を行うことがあります。上の写真は、見本と同じように、定規を使って点をつないだものです。正確に写し書きしました。

下の写真は、粘土で作った作品です。見本を見ながら、線や点の数、止め、はねなど、細部に注意をして作りました。

「漢字の学習」②



教科書の新出漢字を覚えるために、漢字どうしを組み合わせ正しく熟語を作ったり、部首を覚えたり、漢字の一部を隠し、正確に書ける練習をしたり、定着を図っています。

一人ひとりの得意な力を活かし、着実に覚えられるように支援しています。

「定規やコンパス等の使い方」「単位を理解する」



必要に応じて、算数科の補充指導を行うことがあります。前期は、定規やコンパスを使って、直線の測り方や描き方、並行と垂直の描き方などを身に付ける練習をした子どもたちがいきました。また、2・3年の単位換算の学習で、自分で長さの単位うちわなどを作り、内容の理解を深めた子どもたちもいました。



## 平成29年度の学習活動の紹介② 運動タイム

(必要に応じて、個別タイムでも、運動の学習活動を行っていました。)

### 「体カテストに向けての学習」



4・5月は、基本の運動を行うとともに、運動会や、体カテストに安心して臨めるようになるための学習活動を行いました。

チャレンジタイムでは、上体起こしや反復横跳びなどの方法を確認し、実際に挑戦しました。子どもたちは自信をもって取り組めるようになっています。連携を取り、在籍校で活かせるように支援していきます。

### 「ほんごうサーキット・跳び箱運動」



低学年は、サーキット運動を行いました。一度取り組んだ運動ということもあり、自信をもって活動していました。どの運動も、それまでよりも体の使い方が良くなりました。

中・高学年は、跳び箱運動に取り組ましました。とても意欲的に取り組み、開脚跳び、台上前転、閉脚跳びまで練習をしました。安全にも気を付けて運動することができました。

### 「鉄棒運動」



4～6年の子どもたちは、鉄棒運動をしました。ふとん干し・こうもり・前方回転等の技に挑戦しました。はじめは怖がっていた子どもも補助器具を使ったり、先生に補助してもらったりしながら、一生懸命チャレンジしました。逆上がりの練習では、写真のように、風船をぶら下げた補助器具を設置し、風船を蹴ることを意識して練習しました。

### 「ボール蹴り運動」



ボール蹴りは、状況に応じて蹴る力の調整が大切となります。ビニール袋を割らないように力を調整しながら蹴ったり、足の内側でコントロール良く蹴ったりする練習をしました。最後は的当てゲームで学習のまとめをしました。練習を重ねることで、どの児童も上達しました。

## 平成29年度の学習活動の紹介③ コミュニケーションタイム

(必要に応じて、個別タイムでも、ワンポイントやコミュニケーション活動を行っていました。)

### ワンポイント

「運動会に落ち着いて参加しましょう」

こまっていることを なくそう。

月 日( )名前( )

うんどうかいの こと

かけっこ・リレー

はしるレーンや はしる じゅんばんが わかりづらい。

まけるのが たえられない。

ダンス

おどりや うごきが おぼえられない。

みんなで やる かちまけの ある きょうぎ

運動会で自分の組が負けたときの対処について話し合いました。個別学習では、子どもたちが話しやすいようにと、特別支援教室で作成したチェックシートを活用して、運動会への不安について話し合いました。ダンスなどで移動が難しい場合は前後の友だちが誰かを覚える、暑さ対策のために水をこまめに飲むなど、不安解消の方法を具体的に考えました。

### ワンポイント

「緊張を感じたときにどうしたらよいか考えましょう」

今回の相談者は、3年生の女子みずきさんです。

わたしは、読む練習を何度もしていますが、みんなの前で、かなり きんちょうそうで、自信がありません。友だちは、読んだり、みんなの前で話したりすることがじょうずです。相談があります。わたしはどうしたらよいか、おしえてください。

あなたは、じゅぎょうさんかんの日です。1時間目の国語の時間、これまで調べてきたことを、ひとりひとり発表します。

はじめに、緊張をしたときの体の状態の変化について考えました。子どもたちからは、手のひらに汗をかく、話し方が速くなったり声が小さくなったりするなどが挙がりました。続いて、ワークシートを用い、自分が緊張しやすい場面を振り返りました。まとめとして、緊張したら深呼吸をしたり、不安なことを周りや相談したりすると良いことを学び合いました。

### コミュニケーション活動

「ふくろの中は何でしょう？」(話し合い活動)

よいしつ問をするために

- ・ 色
- ・ 形
- ・ におい
- ・ おもさ
- ・ 大きさ
- ・ つかいかた
- ・ さわった感じ など

袋の中の物を相談して当てる活動です。当てるために、必要な情報を質問していきます。「それはどんな形ですか?」「どんな色ですか?」など、1つずつ質問をします。友だちの質問を聞きながら、さらに答えに迫る質問を考えます。答えが絞られてくると、自然と話し合うすがたも見られました。質問をすることや話し合いの良さを経験できました。

### コミュニケーション活動

「スリーヒントクイズをつくらう」

ヒント①

たべものです。

ヒント②

のりを まいています。

ヒント③

さんかくの かたちを しています。

こたえ：おにぎり

物の特徴を捉え、説明する力を伸ばすことを目的に行いました。図鑑や辞書などで調べ、次第に答えが分かり、かつ、答えを一つに絞れる問題を作りました。第1ヒントで何の仲間か(動物、道具など)、第2ヒントでいつ使うか、どんな形かななどの特徴、第3ヒントで、そのものだけの特徴になるようにヒントを作りました。実際に出題することも経験しました。



## 平成29年度の学習活動の紹介④ ほんごうタイム

(必要に応じて、個別タイムでも、以下の学習内容を行っていました。)

### 「ほうきを使って、教室のそうじをしよう」



ほうきの使い方を確認し、ジグザグに掃いてゴミを確実に集めていくようにしました。ゴミを集めやすくするために、自らちぎった新聞紙をぬらして教室に散らしました。また、掃き漏らしがないように、シュレッダーで裁断した紙くずを床にまきました。子どもたちは意欲的に活動しました。学校でていねいに掃除をするようになったと教えてくれた子もいました。

### 「結びの名人になろう」



ゴミ袋を結ぶ、ひもをかた結びする、短なわを結ぶ、ちょう結びをする、ふろしきで包むなど、生活に必要な結ぶ技術について扱いました。子どもたちは、やってみたい結び方を選び、実際のやり方を見たり、解説写真を参考にしたりして、練習しました。最後は、30cmほどのたこ糸を輪ゴムに4本結び、そのゴムを使って、2人で協力する遊びを楽しみました。

### 「きおくゲームをしよう」

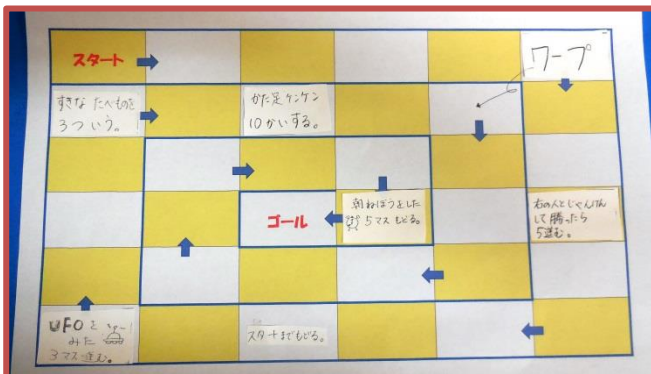
鮭	鯖	鱒	鯨	鰯
鰹	鰺	鯉	鱈	鰯

(記憶した漢字カードの例。 上から  
さけ さば ます くじら ぶり  
かつお かれい こい たら いわし)

記憶の方法についての学習活動を行いました。はじめに覚える方法を7つ紹介し、どの方法が覚えやすかったかを確認しました。

その後、別室に用意した漢字やイラストの表を、友だちと交代で見に行き、記憶をし、同じものを作る活動をしました。子どもたちは工夫して覚えていました。また、「ぼく、この列を覚えてくるね。」などと、友だち同士で役割分担しているのも良かったです。

### 「作ったすごろくを楽しむ」



友だちと勝ち負けのある遊びを楽しむには、相談してルールを設定し、それに合わせて活動することが大切です。すごろくでは、子どもたちが指示の内容と、その指示をどのますに設定するかを相談して決めてからやりました。ふりだしに戻る、2回休むなどの指示がいくつかありましたが、どのグループも自らのルールに合わせて最後まで楽しむ経験になりました。